

「攻め」と「守り」の実践型クラウドファンディング

購入型クラウドファンディングのメリットを最大限享受するための方法論&会計・税務(優遇税制)

～テントウワン税理士法人のプレゼンセミナー～

国内における2016年クラウドファンディングの実績は約745億5,100万円、うち購入型は約62億円(矢野経済研究所の調べ)にまで成長を遂げ、今後も更なる拡大が予想されます。しかし、そのメリットを最大限享受するためには、実効性のある計画とその実践による「攻め」、そしてクラウドファンディングに対する適切な会計・税務(優遇税制)の知識や知恵で裏打ちする「守り」の両輪を欠かすことができません。本フォーラムでは、クラウドファンディングの基礎から実践までを、マーケティングそして会計・税務の専門家の複層的な視点から簡潔にお届けします。

- 【日時】 2017年12月6日(水) 13:30～15:30(開場13:00)
【場所】 大阪中小企業投資育成(株) セミナールーム(大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル28階)
(参加者には別途会場案内図をFAXいたします)
【費用】 無料 ※同業(税理士など)の方からのお申し込みはお断りさせていただきますので、ご了承下さい。
【申込方法】 下欄「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込ください。

プログラム

【第1部】「攻め」～マーケティング戦略としてのクラウドファンディング～

クラウドファンディングは、本当に有益で実効性がある手段なのか、自社のこれからの取り組みはクラウドファンディングに向いているのか、資金調達ツールとして考えてよいのか、注意点や外してはいけない視点は何か…、これらの疑問をひとつずつ紐解くとともに、成功そして失敗事例をふまえ、マーケティング戦略としてのクラウドファンディングの活用方法や期待される効果をお届けします。



エイドデザイン 代表 渡部 直樹

クラウドファンディング・コンサルタント。5,000件以上の広告案件に携わる中で構築した独自のマーケティング手法・広告戦略を用いて様々なプロジェクトをサポート。自らもクラウドファンディングに挑戦、事業を成就させた経験を持つ。

【第2部】「守り」～クラウドファンディングの会計と税務(優遇税制)～

クラウドファンディングの実践に必要な各種の事業コスト。優遇税制の活用で、その負担軽減を見込むことも可能です。クラウドファンディングでは調達しえない資金を補うための3つの優遇税制、集めた資金を適切に取り扱うための会計と税務の基本、さらに活用を検討しておきたい補助金や助成金など、クラウドファンディングを基軸に、広範な経営財務におけるポイントをお届けします。



テントウワン税理士法人 小谷 藍

公認会計士試験合格後、大手監査法人にて製造業・小売業など国内外企業30社以上の監査業務に従事。テントウワングループ入社後はこれまでの経験を活かし、中小企業に向けた会計や税務のアドバイスを積極的に行っている。

【第3部】「攻守混合(パネルディスカッション)」～クラウドファンディングのあるべき姿と実践に向けた要点～

第1部と第2部をふまえ、クラウドファンディングのポテンシャルを最大限に引き出すためのあるべき姿、実践に向けたポイントを、マーケティングそして会計・税務の専門家がパネルディスカッションを通じて、攻守双方の視点から明らかにします。

FAX (06) 6459 - 1703 (番号違いにご注意ください)

当該参加申込の情報は本フォーラム講師機関と共有利用いたしますが、本フォーラム以外の目的で利用することはありません。

「攻め」と「守り」の実践型クラウドファンディング(2017/12/6)申込書 ※後日受付書をFAXいたします

| | | |
|----------|---------------------------|-----|
| 会社名 | フリガナ 受講者氏名 (E-mail) | TEL |
| 所在地 〒 | | FAX |
| 部署 役職 | | |